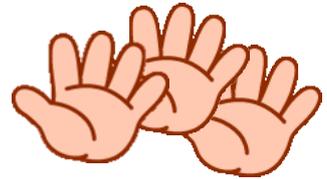


テトテトテトテテ



校長だより 2023. 6. 27 NO. 2



中学部生徒が作製した全校交流会の看板

6月23日(金)、子どもたちが楽しみにしていた「全校スタンプラリー」が開催されました。

本校では、この時期には、例年「体育祭」を実施してきましたが、子どもの主体性や協働性を育むことを重視する観点から、見直し・検討を行ってきました。その結果、今年度は、生徒会が中心となって「みんなで一緒に楽しみ、交流を深める」ことを目的とした交流活動へと変わりました。「全校スタンプラリー」は、まさに「手と心でつながるわかりあえる喜び ～笑顔あふれる松ろう～」を実現できた取組となりました。

幼稚部から高等部までの異年齢集団で4チームをつくり、各チームが校内8か所のポイントで設定されたミッションをクリアし、スタンプを集めてゴールをめざすという交流活動でした。当日の活動や、生徒会の準備の様子については、学校ホームページにたくさんの写真を掲載していますので、ぜひご覧ください。

チーム名を決めるところから始まった子ども同士のつながりは、本番でも発揮され、高得点が取れるよう作戦を話しあったり、協力して取り組んだり、下級生を思いやって行動したりする姿がたくさん見られました。共同体験をとおして、残念な気持ちやゴールできた喜びを共有したり、みんなで「やったあ！」と達成感を味わったりするなど、気持ちの交流もできました。

また、どの子どもも安心して、分かって取り組める活動と参加が保障されていた学校行事でもありました。一例をあげると、「みんなでかくれんぼをする」というミッションでは、幼稚部の子どもたちが日頃遊んでいる場所で、好きな遊びが設定され、幼稚部の子どもが鬼になることが決まっていました。他のミッションにおいても、子ども目線の工夫が随所にありました。

今後も、「楽しかった」「がんばった」に留まらず、自分の良さに気付いたり、誰かのために役立った、自分が成長した、友だちや先生とのつながり深まったと感じられたりする教育活動を展開していきたいと思えます。